

Esperanza

No.57
Winter 2022



Student of OOJC
Aya Minoshima

学生会 会長
社会福祉科 介護福祉専攻 2年
菟島 綾 さん
(足寄高等学校卒)

今年度の蘭華祭は、新型コロナウイルス感染防止のため、内部のみの公開で実施いたしました。

その中でも、今年度は3年振りに飲食販売を再開し、とても盛り上がりを見せました。学校祭実行委員が中心となり、各クラスが団結し、試行錯誤をしながら工夫を凝らし準備を行いました。

企画していたグラウンドでの花火も天候に恵まれ皆さまに楽しんでいただけたのではないかと思います。

至らなかった点もあったかと思いますが、無事終了することができました。皆様のご協力に感謝しお礼申し上げます。ありがとうございました。

第62回蘭華祭を行いました

今年の大学祭のテーマは、「Harmony～ハーモニー～」。ギリシャ語で「接合」を意味する言葉である。今年の大学祭はまさしく学内中が接合し、笑顔がはじけるものとなった。ウイルス感染の影響で規模縮小を余儀なくされ、接合した楽しい時間はあっという間に終わったかもしれない。しかし、蘭華祭の日だけは、確実に心に残るものになった。今年の大学祭も大成功だった。



Contents

- 蘭華祭の様子 2P
- OOJC写真
～短大の学びから～ 3P
- 看護学科と地域共生学科の新設 4P
 - ・イベントカレンダー
 - ・編集後記

真実

強調

敬愛

第62回 蘭華祭

第二楽章 ∞Harmony∞

タイムスケジュール

12:00～12:15 受付
 12:35～14:05 出し物・スタンプラリー
 14:15～15:45 サークル発表・有志発表
 15:45～16:45 ビンゴ大会
 17:00～ 打ち上げ花火

地教1年: ミニピザ
 子福1年: くじくじの実
 栄養1年: ポップコーン
 介護1年: 飲み物販売



地教2年: ボールゲーム
 子福2年: チュロス
 栄養2年: チョコバナナ
 介護2年: ストラックアウト



学校祭実行委員長
 社会福祉科 介護福祉専攻
 2年 長田 由比 さん

新型コロナウイルスの影響により、蘭華祭直前まで実習等があるなど、短い準備期間の中、どのクラスも協力してくれ真剣に準備に取り組んでくれました。準備を進めていく上ではさまざまな苦労・苦悩がありましたが、それらと正面から向き合い、乗り越えてきたからこそ、学校祭を成功させることができたと感じています。

地域教養学科

11月24日(木)、「身体の科学」の講義において、アリーナで身体運動バランスについての行いました。運動生理学の知見に依拠し、身体のメカニズムを学び、生涯にわたる健康な身体機能の維持・向上、低下予防等の視点からのトレーニング方法について体験的に学びました。



社会福祉科 介護福祉専攻

10月7日(金)、および14日(金)、社会福祉科介護福祉専攻1年生の「家庭生活支援技術Ⅰ」の講義を株式会社マルベリーさわやかセンター帯広にて行いました。

生活支援における福祉用具の重要性や福祉用具の種類、適切な福祉用具を選ぶための視点について講義や体験を通し学習しました。最新の介護機器を実際に体験させていただくことで、福祉用具の意義についての理解がより深まりました。



00JC オープンカレッジ特別講座 池上彰氏特別講演会を開催しました



2022年6月19日(日)、音更町文化センターにて、音更町開町120周年・帯広大谷短期大学創立60周年という双方の節目を記念して特別講演会を実施しました。テレビの解説などでお馴染みのジャーナリスト池上彰氏をお招きして「学び続けるために」と題してお話しいただきました。本来であれば2020年が創立60年でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により2回延期をしてお催しとなり、関係者を含めて計450名にご来場いただきました。これからも音更町にある唯一の高等教育機関として、地域の方に寄り添いながらさらなる時を刻んでいけたらと思っております。



生活科学科 栄養士課程

10月2日(日)、道の駅おとふけ なつぞらのふる里 北側広場にて、本学生活科学科栄養士課程と蘭華農園サークルが出店いたしました。当日は、天気も良く来場のお客さまもたくさんの中、ご好評いただき売場となりました。

このコロナ禍において、中々イベント出店が叶わない中、感染対策等をしっかり行い参加することができました。運営に携わる皆様に支えられ出店できたことに感謝し、今後も地域になくはならない短大として、活動していきたいと思っております。



社会福祉科 子ども福祉専攻

9月29日(木)、社会福祉科 子ども福祉専攻「子どもの健康と安全」の講義で、音更町消防署職員にご協力いただき、子どもの命を守るための応急処置法や技術について学びました。

小児・乳児、新生児についての心肺蘇生法やAEDの使用方法を実践することで、心肺蘇生の目的と重要性や救命処置の手順を学習しました。



2023 年春 新たな歴史の始まり ～ 看護学科と地域共生学科の新設～



短期大学の校舎の南側には、立派な木があります。秋になると見事な赤色に色づき、それは、近所のみなさまが写真を撮りに訪れるほど。日差しが当たる時には反射光が校舎に当たるので、部屋が優しい朱色に染まります。本学の学生や教職員は、こうして季節を感じながら日々を過ごしています。

1988（昭和63）年4月、短期大学が現在の場所に移転し、初めての入学生を迎え入れてから今年で34年になります。今年度、本学では看護学科と地域共生学科の新設に向け、文部科学省に申請を行い両学科ともに2023（令和5）年4月1日の開設が認められました。短大校舎の北側には今、新しい校舎、看護学科実習棟を建設中です。

新学科名称	コース名称	入学定員	修業年限	取得可能資格・免許等
地域共生学科	キャリアデザインコース	50 名	2 年	図書館司書 社会教育主事
	食と栄養コース			栄養士 フードスペシャリスト
看護学科		40 名	3 年	看護師国家試験受験資格 保健師・助産師学校の受験資格 養護教諭養成学校の受験資格

2023（令和5）年度、新たに地域共生学科も開設します。学科はキャリアデザインコースと食と栄養コースの2コース制となっています。キャリアデザインコースは地域教養学科の教育課程を踏襲しており、図書館司書及び社会教育主事課程を引き続きラインナップしています。食と栄養コースは、長い歴史のある生活科学科

栄養士課程の教育課程を引き継いでおり、これまでどおり栄養士免許を取得することができます。地域共生学科は地域教養学科と生活科学科栄養士課程を1つの学科として統合した学科、ということができます。地域共生学科のキーワードは名称にも謳っているとおり「地域」です。学びの過程で学生は、地域社会を知り、地域社会とのつながりを捉えながら自らのキャリアデザインを主体的に考え、地域社会とともに成長することができる視点を持つこと、また、十勝の基幹産業である「食」のアプローチから、地域の「健康」を支えるテーマを持ちながら栄養学を学ぶということに向き合います。地域共生学科の設置は、本学が十勝という地域社会に貢献する人の育成を行うことを明確に表現するものであり、地域に求められる短期大学として存在し続けるための新たな魅力作りです。

OOJCカレンダー

●1年生 ●2年生 ●1・2年生共通

December (12月)	January (1月)	February (2月)	March (3月)
<ul style="list-style-type: none"> ● 社会教育実習（地域教養学科） ● 栄養士実力認定試験（栄養士課程） ● フードスペシャリスト資格認定試験（栄養士課程） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生会執行役員選挙 ● 社会教育実習（地域教養学科） 	<ul style="list-style-type: none"> ● リーダー研修会 ● インターンシップⅡ（地域教養学科） ● 家庭料理技能検定実技試験（栄養士課程） ● 保育実習Ⅰ（子ども福祉専攻） ● 介護実習Ⅰ（介護福祉専攻） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 卒業式・学位記授与式 ● 卒業記念祝賀会 ● インターンシップⅡ（地域教養学科）

※学校行事予定は、状況により中止または延期になる可能性があります。

編集後記

～短大事務局2022～

短大の2階には事務局があり、個性豊かな15名の職員で構成されている。（職員の半数を某血液型で占めているのも大きな特徴である。）総務、経理、教務、学生支援、就職支援、学生募集の部署があり、多岐にわたる業務を行っている。用件があり訪れる学生に伝えるべく、常日頃より熱い気持ちを持ちスタンバイしているが、最近、フレッシュな職員が仲間として入職したことで、筆者は最近、押され気味であり、世代交代？いやいやまだこれからと、自分に言い聞かせている今日この頃である。

新入職員の多くが本学栄養士課程の卒業生であり、各部署に栄養士資格を有する職員が一人配属されている。今後、フロア内の空気感のみならず、職員内の不摂生気味？の食生活や、個々の健康診断の数値にも改善がみられるなどの相乗効果が期待されている。（N.N）

帯 広 大 谷 短 期 大 学

〒080-0335 北海道河東郡音更町希望が丘3番地3
URL: <http://www.oojc.ac.jp>
発行: 2022(令和4)年12月

TEL: 0155-42-4444 FAX: 0155-42-4499
E-mail: inform@oojc.ac.jp
編集: 広報・PR室